

## 小学校国語科における知識・技能の活用を 図ることをねらいとした問題の作成

【総括研究担当者】 高屋敷一博 安部 広一

【国語科研究担当者】 青山 武 阿部真由子

【この研究に対する問い合わせ先】

TEL 0198-27-2735 FAX 0198-27-3562

E-mail kyouka-r@center.iwate-ed.jp

### 1 基礎・基本の定着について

本県の義務教育では、「すべての児童生徒一人一人に基礎・基本の定着を実現していく」ことを目標にしています。

本県においては、「基礎・基本」を、読み・書き・計算といった学習基盤の育成及び各教科等における基礎的・基本的な知識や技能の習得とともに、その知識や技能を活用して人間として社会人として生涯学ぶことができ、自らの人生を切り開いていくために必要な能力（思考力、判断力、表現力等）ととらえています。

（「平成 22 年度学校教育指導指針」より）

### 2 「活用問題」とは

「活用問題」とは、学習指導要領を基に、知識・技能を活用して、思考力、判断力、表現力等を育むことを目的とした問題です。

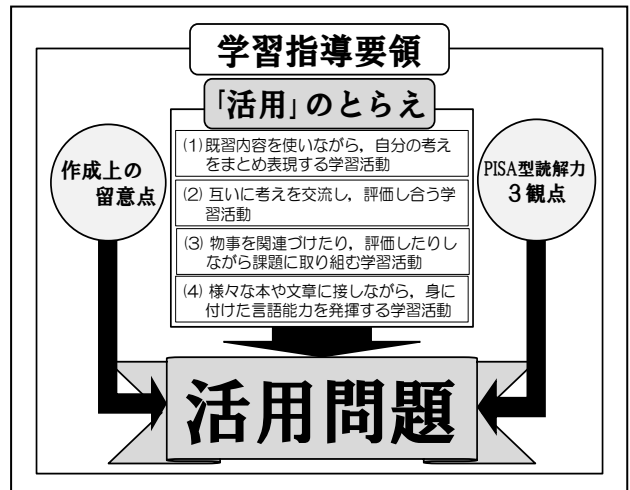
そのために、「活用問題」は、必要な情報を取り出したり、根拠を持って考えたり、自分の考えを説明したりするなどの言語活動に取り組めるよう構成しています。

児童は、授業や家庭学習などで「活用問題」に繰り返し取り組むことにより、知識・技能を活用することに習熟していきます。

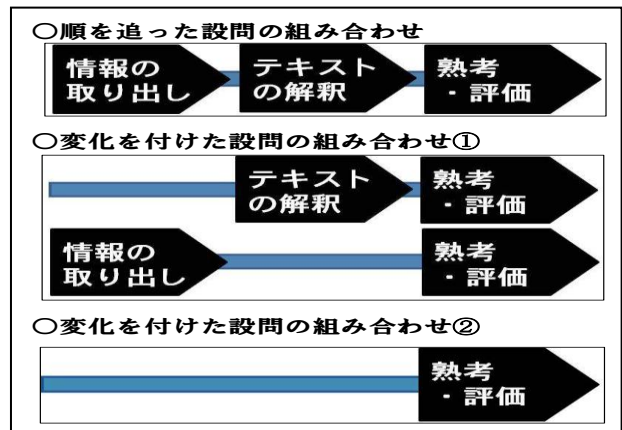
また、教師は、児童の解答状況から、授業実践を振り返ることより、授業改善につなげることができます。

### 3 小学校国語科における「活用問題」

小学校国語科における「活用問題」は、「知識・技能の活用を図る学習活動に関する指導展開例」（岩手県立総合教育センター、2009）における『「活用」のとらえ』をもとに、PISA 型読解力の 3 観点と作成上の留意点をふまえて作成しています。



また、「活用問題」の作成に当たっては、PISA 型読解力の 3 観点をもとに、以下の類型を設けました。



# 「活用問題」の特長

## ① 問題文の中に、日常生活の中で起こり得る場面を設定しました。

児童が問題の内容や状況をとらえやすくなるると同時に、問題を解く必然性を感じることができるよう、授業場面や生活場面を問題文に盛りこみました。「活用問題」を通して日常生活に生きる言語能力の素地を養う支援となることを意図したものです。

左の例では、児童が自分の好きな詩について調べ、文章に表そうとする場面を取り上げています。

「推薦する」言語活動は、第5・6学年の言語活動例に示されています。日常生活の中で起こり得る場面として、ここでは国語の授業の様子を設定しています。

## ② 問題の見出しに言語活動の内容と学習指導要領の領域を明記しました。

問題の中で必要とされる言語能力について児童が見通しをもちながら取り組むことができるようにするための配慮として、言語活動の内容と学習指導要領の内容を問題の見出しに明記しました。

「推薦する」と明記することで、児童は既習内容を想起することができます。想起した内容は問題を通して活用する知識・技能となります。

## ③ 問題文の見出しに目標時間を明記しました。

児童が集中して問題に取り組むことができるよう、また時間配分を考えて問題に取り組むことができるようにするために、目標時間を明記しました。

小学校第五学年国語 「推薦する文章を書く」(書くこと) 目標時間 10分

○ 鈴木さんは、自分の好きな詩「七つの子」をくわしく調べ、友だちに推薦する文章を書くことにしました。  
さまざまな資料を調べていくうちに、鈴木さんは、【資料A】、【資料B】の二つの解説文を見つけました。  
詩と解説文を読んで、あとの問いに答えましょう。

## ④ 複数のテキストや非連続型テキストを取り入れました。

複数のテキストや非連続型テキストを取り入れて問題を作成しています。児童は、「活用問題」を通してさまざまなテキストを利用することに習熟していくことができます。

詩と二つの資料を比べながら読み、問題に取り組むことを通して、児童がテキストを利用することに習熟できるよう配慮しています。

児童が内容をつかみやすくなるように、二つの資料は、解釈が大きく異なるものを取り入れました。

七つの子  
鳥なせ啼くの  
鳥は山に  
可愛七つの子  
子があるからよ  
可愛可愛と  
鳥は啼くの  
可愛可愛と  
啼くんだよ  
山の古兼に  
行つて見て御覧  
丸い眼をした  
いい子だよ  
野口雨情

【資料A】  
「七つの子」とは「七歳の子」という意味です。野口雨情が息子さんと裏山に行ったとき、カラスが鳴いていました。その声を「かわいい」と鳴いているのだと、雨情は教えたそうです。  
また、雨情は、一時的に息子さんと別れて暮らさなければなりません。野口雨情は、大切な息子のことを心配に思い、カラスの親子と重ね合わせながら、この詩を書いたのです。

【資料B】  
「七つの子」とは「七羽の子」という意味です。野口雨情は、次のように考えていました。人に嫌われているカラスだって、本当はかわいらしい生き物だ。子どもが読む詩の中に生き物を区別するような考え方を入れているいけない。雨情は、自然や命、そして子どもを何より大切に考える人でした。カラスのことを人間の子どものかわいがるようになまざしで、「可愛」「丸い眼をしたいい子」と表

## ⑤ 設問のステップに変化を付けました。

「情報の取り出し」→「テキストの解釈」→「熟考・評価」の順を追ったステップを構成の基本としています。このステップに変化を設けることで、児童は自ら順を追って思考し、基礎・基本となる言語能力を活用するようになります。

設問1は「情報の取り出し」に該当する問題です。また、設問2は「熟考・評価」に該当する問題になっています。

一 鈴木さんは、ふたつの解説文を読み、内容のちがいを考えました。  
「可愛七つの子」は、カラス、人間のどちらを指しているか。  
【資料A】  
【資料B】

二 鈴木さんは、【資料A】の解説文を読んで、「七つの子」の詩の何をしますか。  
鈴木さんの立場になって、八十字以上百字以内で推薦する文章を書きましょう。

## 5 正答例と解説

正答例と解説は、主に児童自身が使用できるように、以下の点に留意しています。

小学校第3年国語「朗読を工夫しよう」

○ 正答例

3

(1) 朗読の工夫①は、アドリが不安定向と希望をもち自分のやることに納得している、工夫のアドリが未来に希望をもち自分のやることに納得している、と考えているから、表現が大きくなる。

(2) 朗読の工夫②は、アドリが不安定向と希望をもち自分のやることに納得している、工夫のアドリが未来に希望をもち自分のやることに納得している、と考えているから、表現が大きくなる。

(3) 朗読の工夫③は、アドリが不安定向と希望をもち自分のやることに納得している、工夫のアドリが未来に希望をもち自分のやることに納得している、と考えているから、表現が大きくなる。

○ 考え方

1 は、音読の工夫を示している内容です。  
2 は、音読の工夫のメモに書かれています。○(概念をう)のような表現のためメモに書かれています。○(概念をう)のように、台本に直し工夫は、ここでは行われていません。

○ 考え方

1 は、音読の工夫を示している内容です。  
2 は、音読の工夫のメモに書かれています。○(概念をう)のような表現のためメモに書かれています。○(概念をう)のように、台本に直し工夫は、ここでは行われていません。

○ 考え方

1 は、音読の工夫を示している内容です。  
2 は、音読の工夫のメモに書かれています。○(概念をう)のような表現のためメモに書かれています。○(概念をう)のように、台本に直し工夫は、ここでは行われていません。

### 正答例

情報を取り出す問題には正答、テキストを解釈する問題には正答ないし正答例、熟考・評価する問題には正答例として記載しています。

### 身につけてほしい力

問題を通して求められている言語能力を、児童が確認しながら取り組むことができるように記載しています。

### 考え方

正答に至る道筋を、平易な言葉で示しています。問題で使用する表現様式について概説したり、必要な要素を列挙したりして、児童が解説を通して理解を深めることができるようにしています。

## 6 「活用問題」の使用場面

「活用問題」は、児童一人一人の実態に配慮しながら、次のような学習場面で使用することを想定しています。

### 家庭学習や朝自習で使用する

単元で行う言語活動と関連した課題や既習内容の復習のための課題として、繰り返し使用することができます。

### 単元の終了直後に使用する

単元の学習を通して、知識・技能が児童に習得されているか教師が確かめるために使用することができます。

### 予習で使用する

習得すべき知識・技能を意識化し、単元における言語活動に児童が見通しをもって取り組むために使用することができます。

### 授業場面で使用する

授業場面で比べ読みをするための補助教材として取り入れ、児童の言語活動を支援するために使用することができます。

研究内容の詳細については、当センターWeb ページ（岩手県立総合教育センターWeb ページ <http://www1.iwate-ed.jp/>）に資料を掲載しておりますのでご覧ください。

作成した「活用問題」については、岩手教育情報交流ネットに掲載する予定です。また、活用問題 CD-ROM を作成し、各市町村教育委員会経由で各小・中学校に配布いたしますので、ご活用ください。